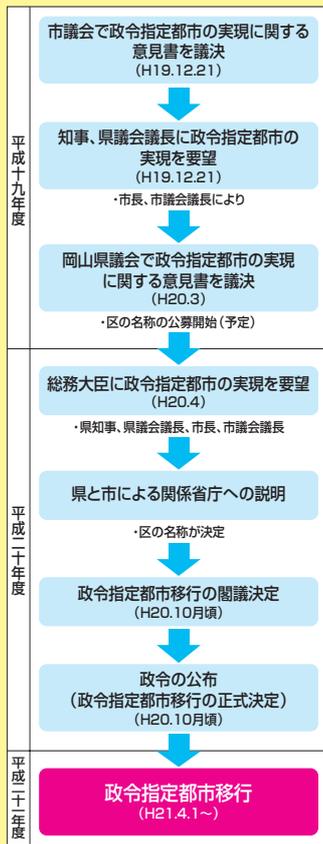


発行責任者
森田 卓司
岡山市建部町大田
4750-20
TEL:0867-22-9900
FAX:0867-22-9911
発行年月日
'08.2.1

政令指定都市の実現に関する 意見書を議決

先例市を参考にした 政令指定都市移行スケジュール (予定)



Q 森田 卓司

- ① 区役所の区長にどのような権限を与えるのか。
- ② 政令市移行に伴い歳入で百九十四億円の増額、歳出で百六十四億円の増額となり、三十億円の歳入増になる見込みと聞いているが、単県事業等の歳入確保はできているのか。
- ③ 建部地域を含む合併四地域の支所については、合併後十年間は、産業建設課を含む支所機能を残すとの見解を示されているが、その後も住民サービスの低下がない支所機能の維持を求める。

A 企画局長

① 区役所を機能や権限の面において総合的な出先機関と考え、区長の権限は現在の西大寺支所長の権限とほぼ同様になると現段階では考えている。

※現在の西大寺支所長は局長級

政令市に向けての取組みはどうか

A 財政局長

② 三十億円の歳入増の試算には、人件費の増、区役所整備等の歳出、市債の歳入を含んでいないが、単県独事業に係る十億円の影響については試算に含めている。

A 理事

③ 政令市移行後も地域の特色を生かしながら、合併効果の発現を高めるといふ基本的な考えの下に新市建設計画・新市基本計画を策定しており、計画実現に即した組織体制となるよう配慮する。計画期間終了後も合併地域の住民サービスが低下することなく、安全・安心な生活が維持できることを基本として支所機能を検討する。

新市基本計画は着実に実施されているか

Q 森田 卓司



11月定例岡山市議会での代表質問

- ① 合併四地区の新市建設・基本計画の進捗状況はどうか。
- ② 建部地域の新しい基本計画の現在の進捗状況はどうか。
- ③ 建部地域の下水道整備計画を問う。
- ④ 合併特例区の設置期間は五年間と定められているが、特例区廃止後もコミュニティバスの運行等地域の実情にあわせ岡山市の一般施策として継続することが必要と考えるが、現在の調整状況はどのようになっているのか。

A 高谷市長

① 合併四地区の新市建設・基本計画の進捗状況等についてのお尋ねですが、先般策定しました水と緑が見せる心豊かな庭園都市を都市像とする都市ビジョンの中で、周辺地域については豊かな自然環境や歴史、文化、資源を生かしながら緑豊かで美しい快適な生活環境の形成を進めることとしております。一方、新市建設・基本計画においては、各地域の整備方針として、御津地域は健康で安心して暮らせる個性豊かなま

ちづくり、瀬崎地域は南部における新たなまちづくり、建部地域は自然環境と共生した交流のまちづくり、瀬戸地域は福祉、教育、スポーツの充実した健康で文化的な生活拠点づくりが示されており、すなわち新市建設・基本計画の推進は都市ビジョンにおける地域拠点の形成に通じるものであり、西日本圏域の中核拠点都市岡山の基盤づくりの役割を果たすことにつながるものと考えております。今後とも新市建設・基本計画の着実な進展に取り組んでまいります。

※編集はしていません

A 新市建設計画推進局長

② 建部地域の十五事業のうち建部駅舎保存整備・公共下水道事業等八事業が着手しており、概ね工程通り進んでいると認識をしています。

④ 先行で合併した御津・瀬崎のコミュニティバス・スクールバスの運行については、岡山市の一般施策に移行する協議を行っている。その他の事業についても、特例区廃止後を視野において、スムーズな制度移行ができるよう調整を進めている。

A 下水道局長

③ 計画に基づき、本年度から福渡地区の工事に着手、富沢・桜・品田地区の設計を実施している。来年度から順次設計地区の工事に着手する。

平成十九年十一月二十八日から十二月三十一日まで十一月定例岡山市議会が開催され、政令市移行に伴う諸課題他について、新風会を代表して質問を行いました。新市基本計画の進捗状況、政令市移行後の建部地域の質問と答弁を中心に報告致します。又、九月十日から九月二十八日まで九月定例岡山市議会が開催されました。個人質問で、たけの森公園の充実、県道建部・大井線、久米・建部線の早期整備を要望しました。

農業・酪農に対して積極的な支援を望む

Q 森田 卓司

① 建部地域でも、キュウリ・ホウレンソウ・ピーマン等の野菜、ブランド米としてたけべ米が生産されている。本市の誇る農産物をブランド化し全国に情報発信するべきだ。

② 岡山市における遊休農地の現状と対策はどうか。

③ 飼料価格や原油価格の高騰、乳製品の消費の低迷等により酪農経営は農業同様厳しい状況にある。酪農業に対する補助及び乳製品の消費拡大を図るべきだと考えるが。

A 経済局長

① 市場等では高い評価を得ているが、販売促進のため試食会等PR活動の実施を検討する。

② 遊休農地の増加を懸念しており、農業委員会等と協力して発生を抑制する。

③ 現在、産地づくり交付金等の支援を行っているが、今後も引き続き様々な支援策を促し、乳製品の拡大が図られるよう積極的にPR活動を行う。

A 農業委員会委員

② 遊休農地の現状の把握については、建部地区は本年度着手したところである。昨年度の調査結果では瀬戸地域を含め二百二十七ヘクタールの遊休農地を確認している。対策としては、菜の花プロジェクト事業の他、関係地権者の戸別訪問をするなどして、農地として利用を呼びかける等の取組みを進めている。今後も農業委員会活動の最重要課題の一つとして、関係機関、団体の連携のもと、地域農業の振興を基本に総合的な施策の中で推進をする必要があると考える。

過小規模校への対応は

Q 森田 卓司

過小規模校・園に対する考え方は。コスト面だけで学校・園の存続の議論をすることがないように望む。(再質問を含む)

A 教育長

地域の方の学校園に対する思いは十分理解している。集団での教育が制限されるなど課題があることから、子どもの将来を見通し諸課題の解消を大切にする。コスト面だけの議論ではなく、まず、教育論、子どもの目線とあわせて考えることが教育では大切であると考

A こども・子育て担当局長

様々な課題がある中で、学校園、行政だけでなく家庭や地域が力を合わせて考えていく。



建部中学校卒業生の実行委員会主催で
開催された手作り成人式
平成20年1月13日 建部町文化センター



Morita Takushi

建部地域関連質問

Q 森田 卓司

旧岡山市で平成二十年度を目前に家庭ゴミの有料化が検討されている。建部地域の家庭ゴミは、岡山市久米南町衛生施設組合で現在有料で処理されているが、組合との協議は進んでいるのか。

A 環境局長

岡山市と久米南町で組織されている一部事務組合では、現在四十五リットル一袋あたり五十二円の有料指定袋制が組合で規定されている。単独で料金設定ができないため、統一については組合と十分協議している。

Q 森田 卓司

合併により教育委員会が一本化されたが、所属教員の居住地区との地理的条件等の格差は大きく、今後建部地区の教員の人事異動についてのご所見は。

A 教育長

教職員にとつて人事異動は最大の研修であるといわれている。市外の学校との交流も含め全市的な立場で人事異動を行う。

Q 森田 卓司

高齢化が進む建部地域の国土調査の早期調査の実現を望む。

A 経済局長

二十一年度末までは計画通り実施していく。二十二年以降も建部・御津・足守他の進捗率の低い地域を中心に計画の策定を行う。

編集後記

岡山市と合併をして一年が経過しました。建部地域では、恒例となつている、元旦のソフトボール大会が近年では最多の十五チームが出場して開催されました。又、建部中学校の卒業生が実行委員会をつくり、自主的に企画をして、手作り成人式が開催されました。その他、色々な行事が行われていますが、建部地域を元気に活気のある地域に自ら行っていくことの思いを強く感じました。私も、地域の皆様方と共に、今年も諸課題に対して元気に取組み頑張ります。

お知らせ

平成19年6月議会で個人質問をしました、建部保育園の整備計画(案)の現状をお知らせいたします。

- 平成19年度 基本構想作成
- 平成20年度 設計
- 平成21年度 (解体及び) 建設工事
- 平成22年4月 開園



活力のある
地域づくりを目指して!!

森田へのご意見・ご要望がありましたら…

TEL : 22-2237・22-9900 FAX : 22-9911

携帯電話 : 090-1337-2249

E-mail:t-morita@po12.oninet.ne.jp